# 平成１９年６月の解説（週間天気予報）

## 【６月の天候状況】

上旬前半は、梅雨前線が本州の南海上に停滞して南西諸島や九州南部地方では曇りや雨の日が続きましたが、そのほかの地方では高気圧に覆われて晴れの日が多くなりました。上旬後半は上空に冷たい空気を持った低気圧の影響で全国的に雨や曇りの日が多くなりました。中旬のはじめ頃は高気圧に覆われてほぼ全国的に晴れましたが、その後は梅雨前線の影響で西日本を中心に曇りや雨の日が多くなりました。

月を通しての日照時間は北日本と東日本の太平洋側で平年より多く、東日本の日本海側、西日本の太平洋側、南西諸島では平年並、西日本の日本海側では平年より少なくなりました。降水量は東日本の日本海側と南西諸島で平年より多く、その他の地方では平年より少なく、特に西日本では平年の 40%を下回った観測地点もありました。気温はほぼ全国的に平年より高く、特に北日本では多くの観測地点で平年より 2℃以上高くなりました。

## 【６月の検証結果】

「降水の有無」の適中率（3～7 日目の平均）は全国平均では例年(注)と同じ 63%でした。中国、九州北部、九州南部地方では５から 10 ポイント例年より低く、北陸地方では 4 ポイント、沖縄地方では 7 ポイントそれぞれ例年より高くなりました。最高気温（2～7 日目の平均）の予報誤差は全ての地方で例年より小さくなりました。特に東北、関東甲信、中国、九州北部地方で 0.6 から 0.7℃小さく、全国平均は 0.5℃小さい 2.3℃でした。最低気温（2～7 日目の平均）の予報誤差も全ての地方で例年より小さくなりました。関東甲信、近畿、中国、九州北部、九州南部地方で 0.4 から 0.5℃小さく、全国平均では例年より 0.3℃小さい 1.6℃でした。

（注）例年値は気象庁ＨＰ（予報精度検証）内「月毎の精度の例年値」を参照してください。

## 【６月の週間天気予報から】

6 月 22 日から 25 日にかけて東京地方は低気圧や梅雨前線の影響を受けて雨が降りました。19 日に発表した週間天気予報では、22 日から 23 日にかけて前線が通過するため広い範囲で雨が降る予想でした。また、24 日は一旦前線が南下して天気が回復し、その後、西から低気圧が近づくものの、東京地方で雨が降り出すの

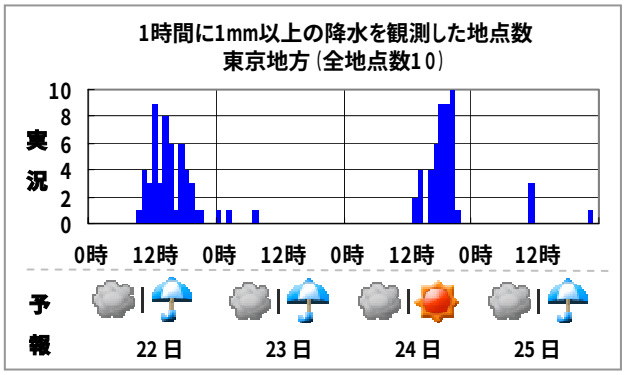


図１　東京地方の毎時の降水の範囲（上段）と当日の週間天気予報（19 日発表）（下段）

は 25 日になってからと予想しました。ところが予想通りの天気になったのは、22 日だけで 23 日から 25 日は予報と逆の結果になりました。

図２は 19 日の予報で使用した 24 日 21 時の予想気圧配置です。西日本から関東の南海上にかけての降水域は梅雨前線による雨を示しています。一方、図 3 は図 2 より 12 時間早い 24 日 9 時の実況天気図で、全体の気圧配置や梅雨前線の位置は図２とほぼ同じです。つまり、実際の天気変化は予想より半日程度早かったことになります。このため、雨が降らないと予想していた 24 日の午後に東京地方の広い範囲で雨が降り、雨が降ると予想した 25 日にはごく一部で雨が降っただけでした。

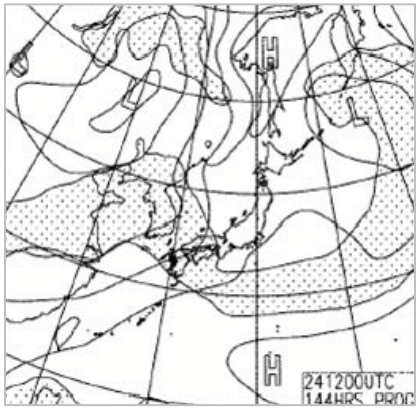


**図２　19 日の予報で使用した 24 日 21 時の予想気圧配置（ハッチは降水が予想される範囲）**

日本列島を覆うような大きな規模の高低気圧の予想に比べて、梅雨前線や梅雨前線上に発生する規模が小さな低気圧の動向の予想は難しくなります。この事例のように前線の位置や低気圧などの気圧配置が予想できた場合でも、時刻がずれて予想より半日程度早くなると実際の天気が予報と逆になってしまいます。梅雨前線による天気の崩れを適確に予想することは天気予報の精度を向上させる上で重要な課題の１つです。

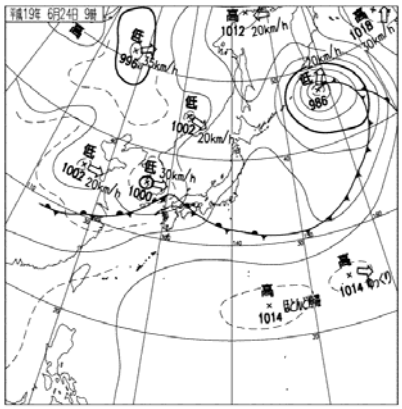


**図３　6 月 24 日 9 時の地上天気図**

**【８月の週間天気予報の利用にあたって】**

８月は１年で最も気温が高く、真夏日（日最高気温が 30 度以上の日）が最も多い月です。これは、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなるためです。

このような日には、地上の気温はぐんぐん上昇し、30 度を超えて、場合によっては 35 度も超えて猛暑日となり極めて暑くなります。その一方で大気の状態が不安定になるため、朝から晴れた青い空にもくもくと入道雲が立ち上り、午後から夜にかけてあちらこちらでにわか雨や雷雨となることがあります。発達した入道雲の下では強い雨が降りますが、離れた場所では何もなかったかのように晴れています。

夏の週間天気予報で晴れの予報が続くときでも、予想気温が 30 度以上で降水確率が ２０％や ３０％と比較的高いときには、突然のにわか雨や雷雨の恐れが大きいことを心にとめておきましょう。特に、河川上流側の激しい雨による下流の急激な増水には注意が必要です。